

福島工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語Ⅳ	
科目基礎情報							
科目番号	0092			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	学修単位: 4		
開設学科	建設環境工学科 (R2年度開講分まで)			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	Science Explorer, 成美堂 / Focus Finder, 桐原書店 /						
担当教員	本田 崇洋						
到達目標							
①文法の基礎力を身につけ、辞書を使って英文の大意が把握できること。 ②TOEICの基本問題に対応できること。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	文法の基礎力を固め、英文を正しく読み取る力を養う。また、TOEIC対策トレーニングを行う。						
授業の進め方・方法	定期試験は50分間の試験を実施する。 定期試験の成績を60%、TOEICを20%、課題の成績を20%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。 この科目は学修単位科目のため、事前、事後の学習として、レポートまたは小テストを実施する。						
注意点	予習の段階で、辞書やテキストの注を使って、英文の大意を把握して授業に臨むこと。問題練習を通して、リスニング力を高め、TOEICにおいてより高い得点を取れるように努力してほしい。自学自習の確認方法ーレポートを定期的に提出させる。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Unit 1、 TOEIC 練習		授業の進め方		
		2週	Unit 1、 文法課題1、 TOEIC練習		時制、 apply to～		
		3週	Unit 1、 文法課題2、 TOEIC練習		文型、 result from～		
		4週	Unit 1、 文法課題3、 TOEIC練習		態、 not～but～		
		5週	Unit 2、 文法課題4、 TOEIC練習		助動詞、 due to～		
		6週	Unit 2、 文法課題5-I、 TOEIC練習		不定詞I、 consist of～		
		7週	Unit 2、 文法課題5-II、 TOEIC練習		不定詞II、 so that～can～		
		8週	試験返却、Unit 3、 文法課題6、 TOEIC練習		動名詞、 allow～to～		
	2ndQ	9週	Unit 3、 文法課題7、 TOEIC練習		分詞、 enable～to～		
		10週	Unit 3、 文法課題8、 TOEIC練習		比較、 enough to～		
		11週	Unit 3、文法課題9、 TOEIC練習		関係詞、 result in～		
		12週	Unit 4、文法課題10、 TOEIC練習		仮定法、 contribute to～		
		13週	Unit 4、文法課題11、 TOEIC練習		疑問文、 prevent～from～		
		14週	Unit 4、 TOEIC練習		付帯状況		
		15週	試験返却、前期のまとめ		前期の総復習		
		16週					
後期	3rdQ	1週	Unit 5、文法課題12、 TOEIC練習		否定、 compensate for～		
		2週	Unit 5、文法課題13、 TOEIC練習		代名詞、 require～to～		
		3週	Unit 5、文法課題14-I、 TOEIC 練習		接続詞I、 not only～but also～		
		4週	Unit 5、文法課題14-II、 TOEIC練習		接続詞II、 due to～		
		5週	Unit 6、文法課題15-I、 TOEIC練習		前置詞I、 lead to～		
		6週	Unit 6、文法課題15-II、 TOEIC練習		前置詞II、 neither～nor～		
		7週	Unit 6、文法課題16、 TOEIC練習		動詞の語法、 provide～with～		
		8週	試験返却、 Unitt 7、文法課題17、 TOEIC練習		形容詞の語法、 enough to～		
	4thQ	9週	Unit 7、文法課題18、 TOEIC練習		名詞の語法、 contribute to～		
		10週	Unit 7、文法課題19、 TOEIC練習		動詞を含む熟語、 respond to～		
		11週	Unit 7、文法課題20、 TOEIC練習		述部を作る熟語、 in turn		
		12週	Unit 8、文法課題21、 TOEIC練習		副詞句を作る熟語、 according to～		
		13週	Unit 8、文法課題22、 TOEIC練習		動詞の重要語彙、 play a role		
		14週	Unit 8、 TOEIC練習		think of～as～		
		15週	試験返却、後期のまとめ		後期の総復習		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。		3	

			英語運用能力の基礎固め	明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3		
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3		
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3		
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3		
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3		
			英語運用能力向上のための学習	実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3		
				自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3		
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3		
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3		
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3		
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3		
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3		
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3		
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3			
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	4		
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	4		
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	4		
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	4		
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	4		
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	4		
評価割合							
	試験	TOEIC	課題		ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	20	0	0	0	100
基礎的能力	60	20	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0